

令和4年度 社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 各研究班精度管理調査結果報告

---

病理検査

片桐 恭雄（岐阜大学医学部附属病院）



## 【はじめに】

病理検査における精度管理は日常業務のレベル向上や知識習得を目的として行っている。

令和4年度は日常業務で遭遇する不良標本・アーチファクトをテーマとした精度管理調査を行なった。



## 【サーベイ概要】

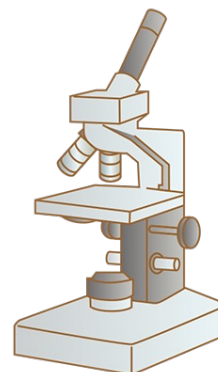
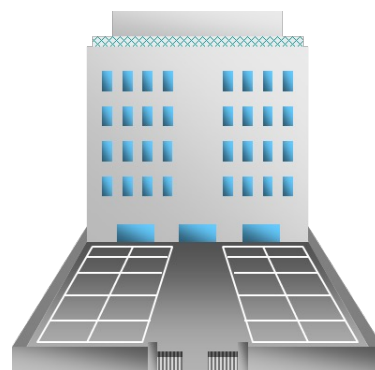
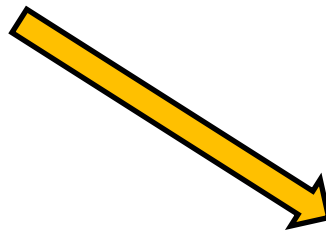
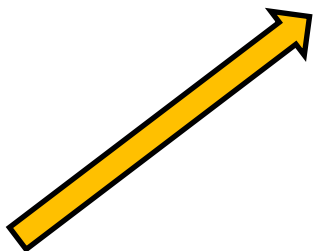
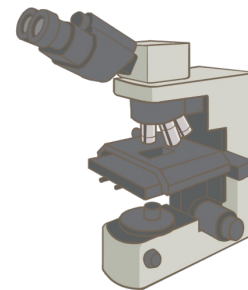
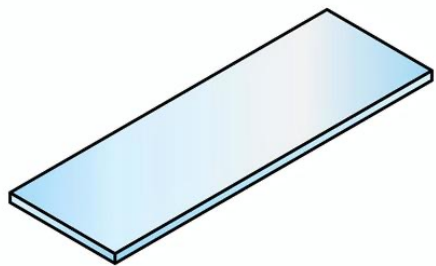
実施項目：標本観察サーベイ

(アーチファクトおよび不良標本)

指定内容：配布した標本①－③を肉眼および顕微鏡で観察し、標本上に起きている不良及びアーチファクトを探し出し、それらの事象、原因、対処について、解答をする。



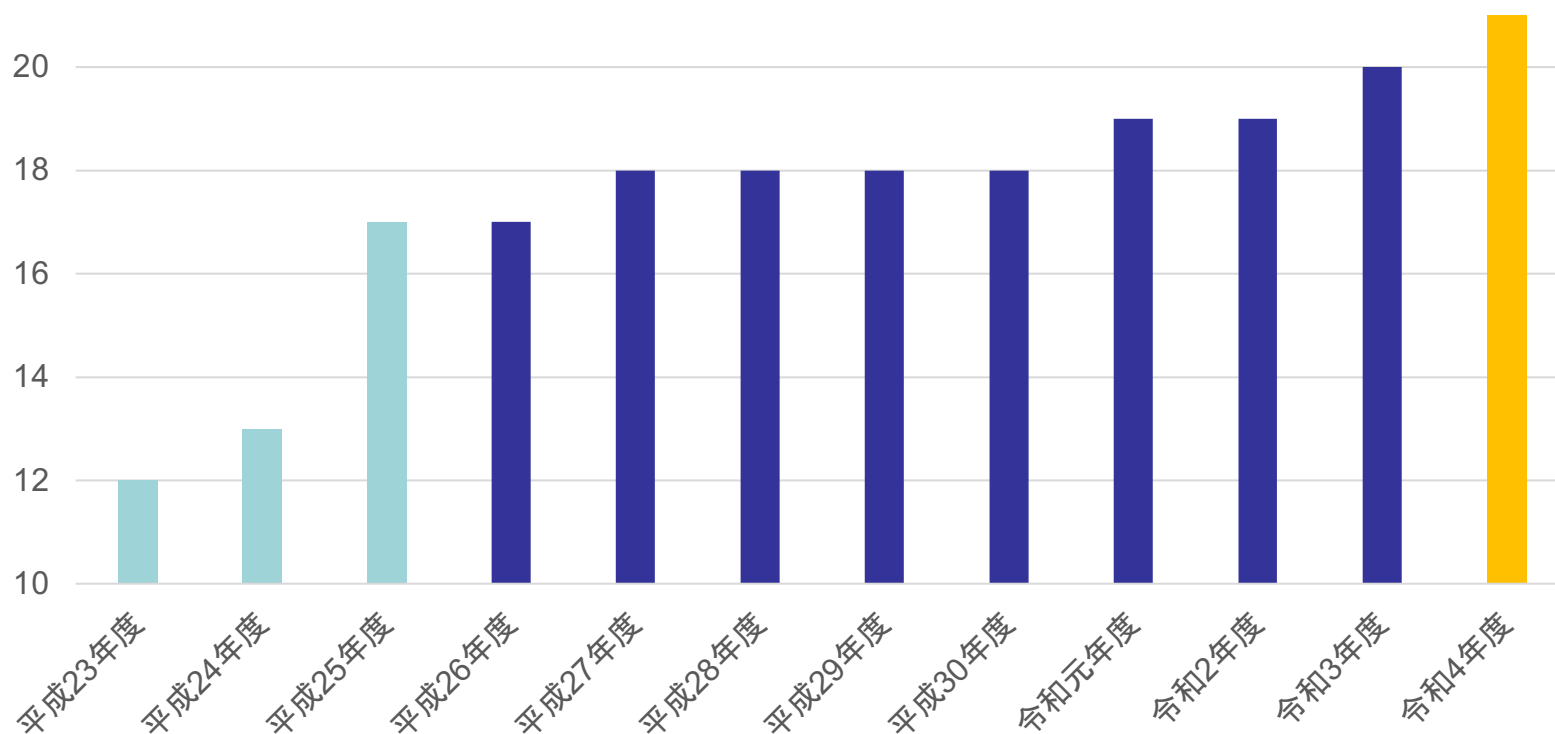
# 各部門 精度管理調查結果報告(病理檢查)



## 【参加施設数】

申し込み: 21施設

・・・昨年20施設のため1増



## 設問①

### 材料:脾臓

剖検材料を用いた HE 標本作製について新人教育を行っていた際に作製された標本です。

使用したパラフィンブロックは熟練者が、粗削りを行い薄切面は均一で異物等は含まれておらず問題なく薄切できる組織が選定されています。

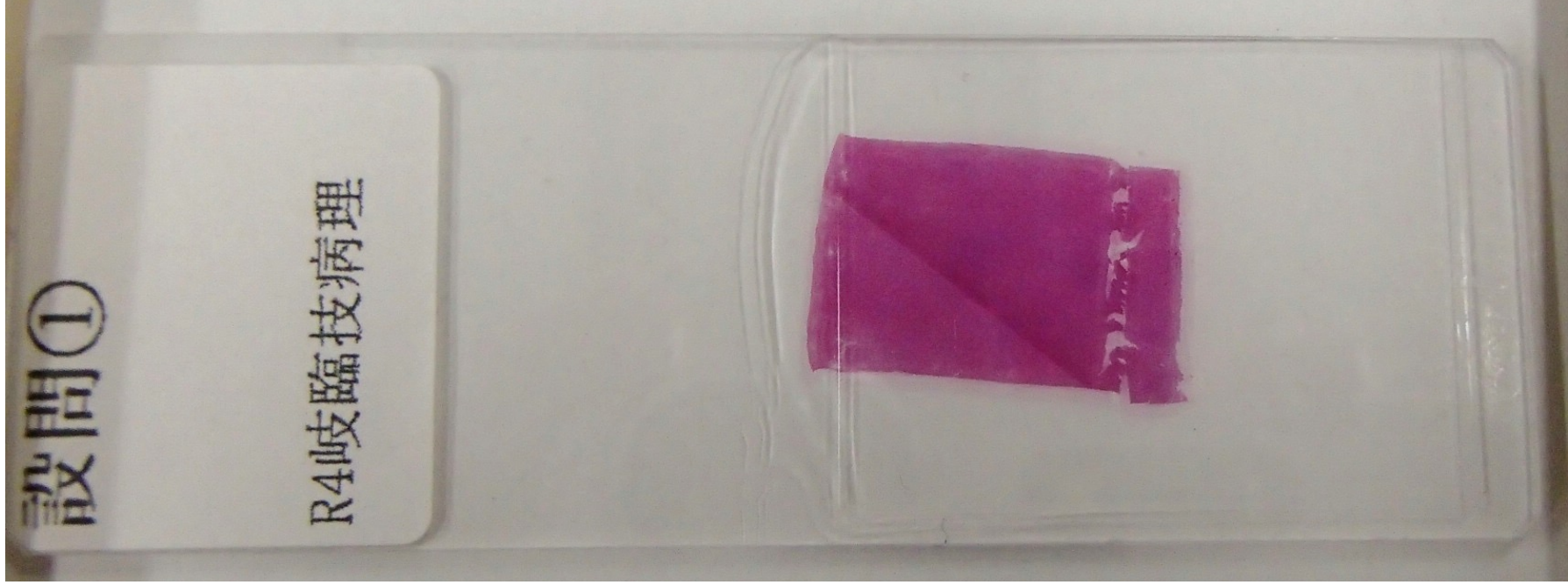
熟練者である指導者は、新人に対し予め声掛けし、相談、報告がしやすいように隣で薄切業務を行っています。パラフィンブロックの冷却から封入までを新人が担当しこの標本が出来上がりました。

薄切、HE染色、封入等の問題点について、事象、原因、対処をコメント入力してください。

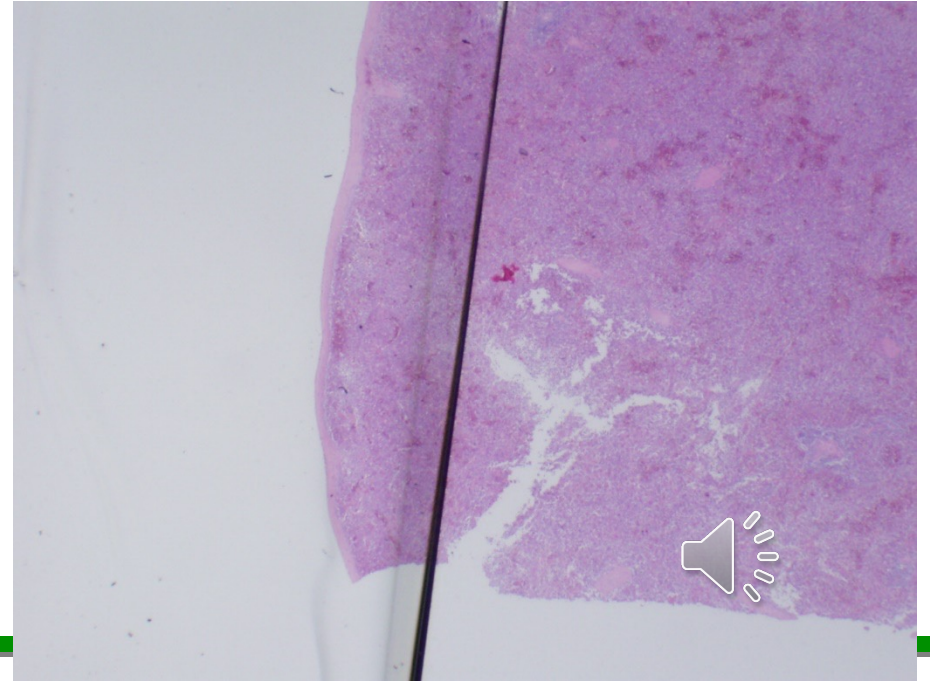
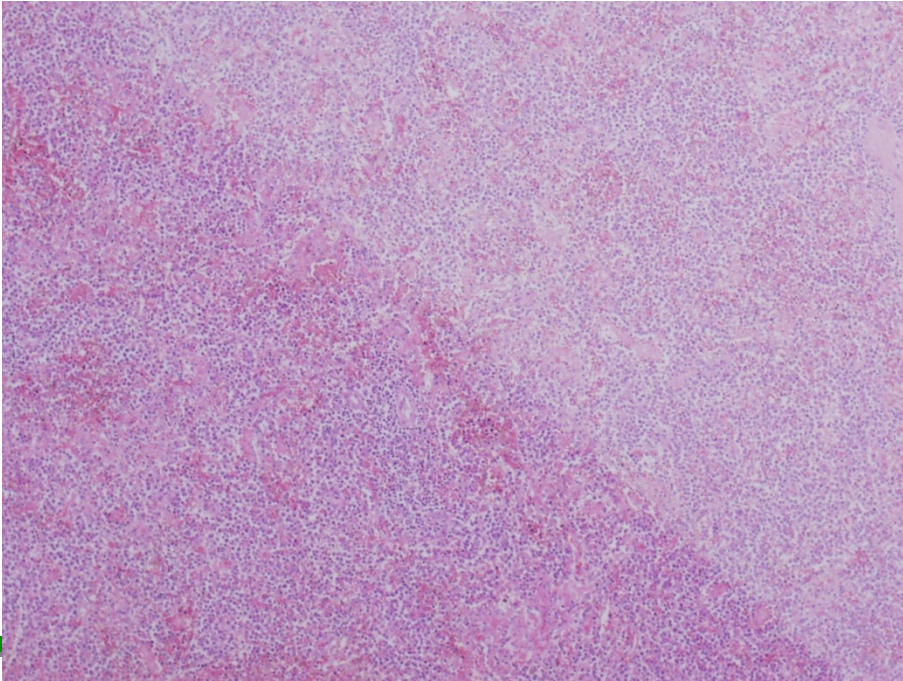
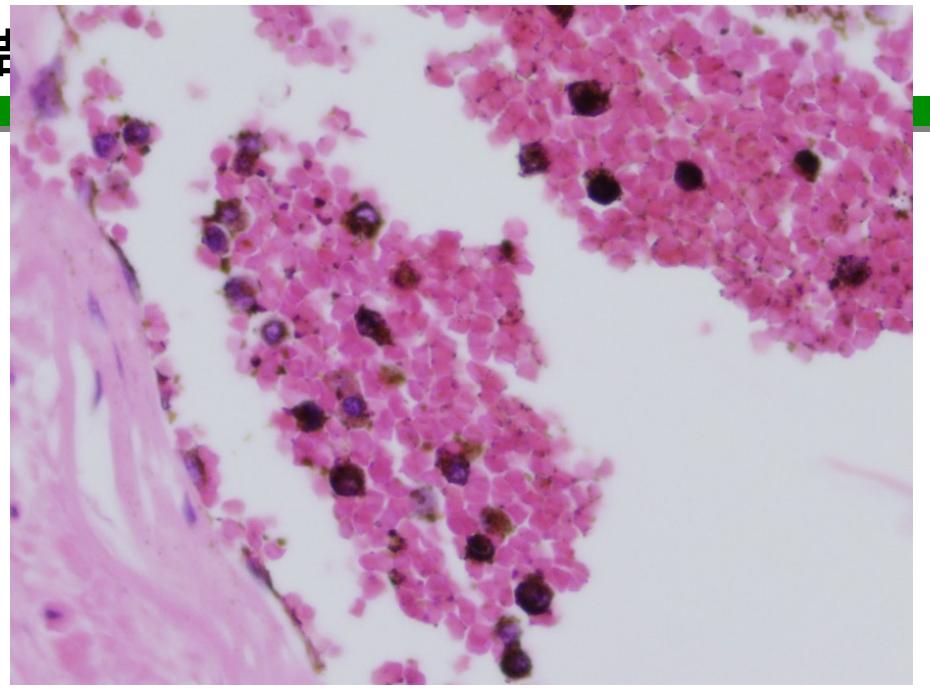
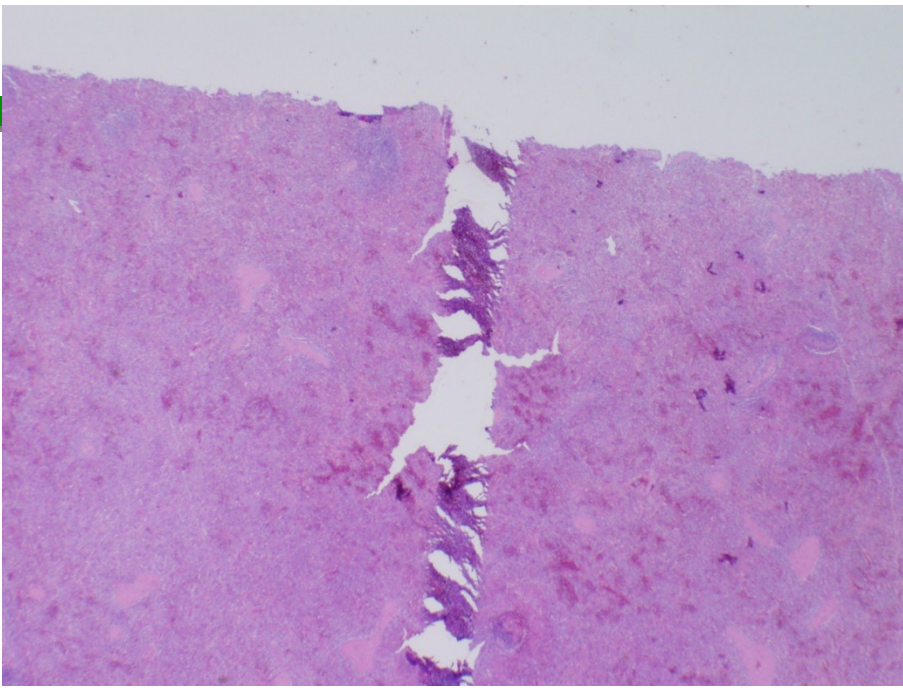
求める事象の数:2個



# 各部門 精度管理調查結果報告(病理檢查)



周査結





## 設問①解答

### 事象

- ・封入不良. 組織のカバーガラスからののはみ出し.
- ・薄切時のメス傷.
- ・チャタリング.
- ・段が入っている.
- ・切片の厚さにむら.
- ・ホルマリン色素が確認できる.



## 設問①解答

### 原因

- ・薄切時にパラフィンブロック組織の上で刃を一度止めた.
- ・薄切スピードが一定でない.
- ・乾燥時にズレた.
- ・封入剤が乾く前に傾けたため水平を保てなかった.
- ・教育不足・トレーニング不足.
- ・ホルマリン固定時間が長い, もしくは中性緩衝ホルマリンを使用していない



## 設問①解答

### 対処

- 適切な封入剤の量, 適切な大きさのカバーガラスの選定, 乾燥時間等, 正しい手順を再教育する.
- 通常であれば封入直しをする必要があるが, 他のアーチファクトも存在するため, 今回は再薄切し標本作製をする.
- 替刃の交換刃を新調し, 再薄切するとともに, 一定の速度で薄切するように再指導を行う.
- ホルマリン色素除去法を実施する.



設問②

凍結ブロック

HE染色

リンパ節



設問③

パラフィンブロック

PAM染色

腎臓



## 【評価項目】

設問1	事象	2点の事象の指摘が出来ること	
	原因	2点の事象に対する原因が追求できること	
	対処法	2点の原因に対する対処法が展開・説明できること	点数 A(5-6点), B(3-4点), C(1-2点), D(0点)
設問2	事象	事象の指摘が出来ること	
	原因	事象に対する原因が追求できること	
	対処法	原因に対する対処法が展開・説明できること	点数 A(3点), B(2点), C(1点), D(0点)
設問3	事象	事象の指摘が出来ること	
	原因	事象に対する原因が追求できること	
	対処法	原因に対する対処法が展開・説明できること	点数 A(3点), B(2点), C(1点), D(0点)

以上の項目について減点制で各々評価を行い、最終的に合計12点満点で総合評価とした。  
総合判定を施設の最終評価とする。ただし、各設問でC・D判定となり二次サーベイで結果が変わらなかった場合は総点数が条件を満たしていても総合判定はC判定以下とする。



【総合判定・評価について】

判定A・評価○ (合計12-10点)

目的を十分に達している.

判定B・評価○ (合計9, 8点)

目的を達しているが改善の余地がある.

判定C・評価△ (合計7, 6点)

病理診断に支障をきたす可能性がある.

判定D・評価× (合計5点以下)

病理診断に支障をきたす可能性が十分にある.



【最終報告】

参加施設数:21施設

総合判定

判定	A	B	C	D
評価	○		△	×
施設数	21	0	0	0



## まとめ

- ・参加21施設すべてがA判定と良好な成績であった。
- ・出題形式が浸透してきた背景もあると思われるが、各施設から十分な解答が得られた。
- ・設問の解答では、教育に対する指摘をした施設も多く、教育への熱心さが伝わってきた。県内施設の新人教育方法を紹介するような企画も準備出来たら、と思う。
- ・来年度は担当者を交代することが決定しており、新しい風が吹き込まれることを期待する。
  
- ・部門での報告会は既に実施している。





# 各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)

---

